

# 【指導の工夫】ICTの活用事例

愛知県立愛知総合工科高等学校の取組（令和3年度国立教育政策研究所実践検証協力校）

【場面】  
科目：「工業技術基礎」  
様々なセンサを用いた  
ロボット制御

【指導の工夫】  
○ロイロノートの活用

自分でプログラミングしたロボットの動きを撮影したものなど、自分の工夫点をロイロノートに貼って共有する。その共有したものをしながら、生徒同士で意見交換し、動作の改善を図る。（図1）

○SCRAPBOXの活用

「オンライン共有ノートSCRAPBOX」に、教員が作成したプログラムや動画（YouTube）などの教材を置き、生徒が自由に活用し、学習できるようにした。（図2）

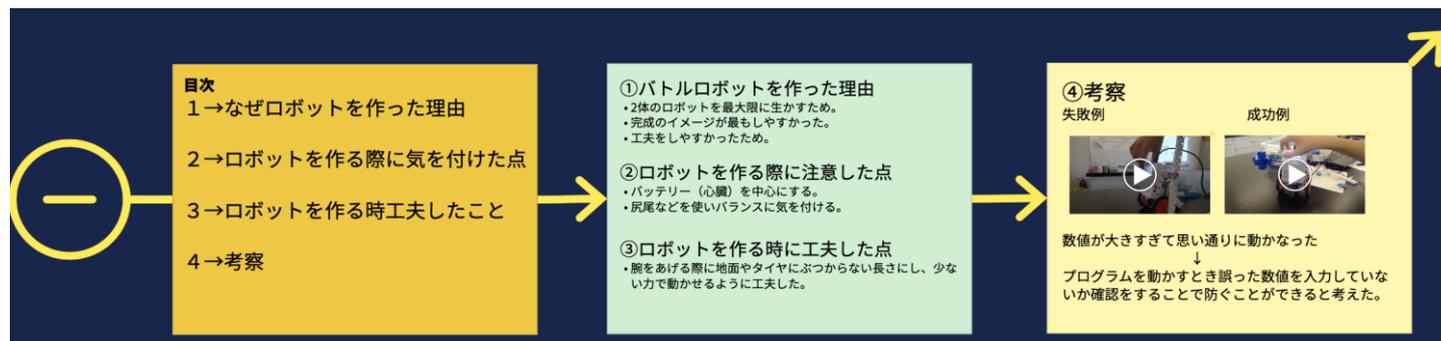


図1 ロイロノートの活用

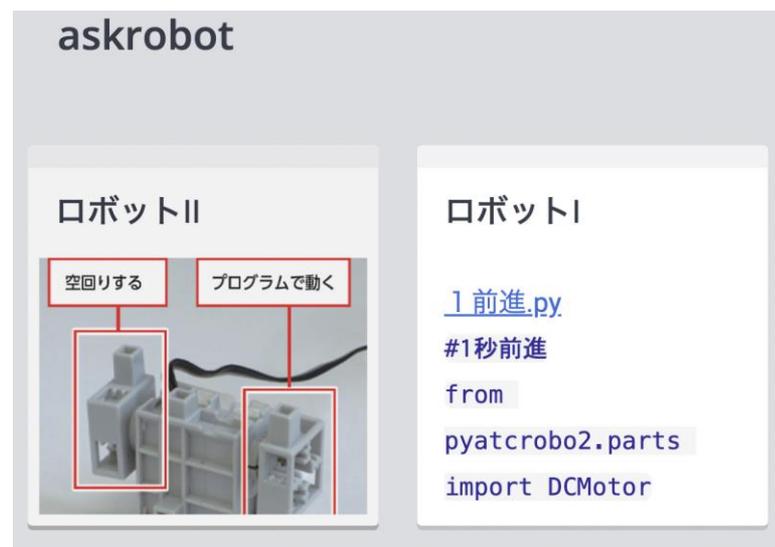


図2 SCRAPBOXの活用

- ・生徒が直感的に操作でき、思考の過程を視覚的に確認することができる。
- ・生徒の発話の機会ロスがなくなり、自ら前向きに取り組んでいくようになる。
- ・作品を画面上で比較検討し、他者の意見や考え方をしっかり聞く力が身に付く。